

こまがね

市議会だより

2025.1.20
12月定例会
No. 104



代表グループ以外は学校からオンライン視聴



C組5班による議場スピーチ

駒ヶ根市議会の新たな取り組みとして、赤穂高校3年生の皆さんとともに「高校生未来会議」を実施しました。今号では、これまでの取り組みをはじめ、12月6日に行った「議場スピーチ」などについて特集いたします。

赤穂高校 × 駒ヶ根市議会 高校生未来会議



12人が登壇!
一般質問

P8~14

高校生未来会議	P2~5
委員会審査報告	P6
議案等審議結果	P7
報告	P15
かほく市訪問	P16



市議会
ホームページ

赤穂高校
×
駒ヶ根市議会



高校生未来会議

高校生の視点から広く政治について考えるきっかけづくりとして

選挙権年齢が引き下げられたことを機に、政治や選挙が身近なものになった高校生を対象に「高校生未来会議」を開催しました。

高校生が政治について学び、高校生の視点から広く政治について考えるきっかけとなるように、また、高校生と議員との意見交換を通じて、政策提言・立案などにつなげていくとするものです。

概要

対象

赤穂高校3年生 5クラス 200名

期間

令和6年9月～12月

提案に対しての議会の対応

議場スピーチで提案いただいたまちづくりのアイデアについて、今後、全員協議会・常任委員会などで調査・研究を行い、必要に応じて市へ要望・提言するとともに、高校生に対してフィードバックを行います。

話し合うテーマ

37グループに分かれて、各グループで設定したまちづくりのテーマに基づきワークショップを実施。ワークショップを重ねて出されたアイデアは、クラスごとにアイデア選挙を行い、クラス代表が議場でスピーチを行いました。



議場スピーチまでの流れ

01 全体学習、テーマ発表 (9月27日)

高校生未来会議の趣旨や目的、政治や議会などについて学習し、クラスごとアイスブレイクやテーマ発表を行いました。



02 ワークショップ (10月3日)

グループごとテーマに基づきワークショップを行いました。議員のアドバイスを参考に、現状・課題の洗い出し、実現するためのアイデア立案などについて検討しました。

移動手段をもっと増やせないかな?

駅前を活性化したい!



みんなが気軽に來れる学習スペースがあるといいな

03 中間発表 (10月31日)

検討を重ねてきた現状・課題・アイデアなどについて中間発表を行いました。発表後には、生徒からの質問や感想をはじめ、議員からは今後の方向性などについてアドバイスをしました。



虹色のゲレンデを作り魅力を発信するアイデアを考えました!

04 最終発表&アイデア選挙 (11月21日)

検討を重ねてきたまちづくりのアイデアについて、最終発表を行いました。発表後には、どのグループが1番良かったかを決定する「アイデア選挙」を行い、12月6日に駒ヶ根市役所議場でスピーチするクラス代表グループを決定しました!



これが本物の投票箱なんだね!

議場スピーチ代表グループは次ページへ

05 議場スピーチ (12月6日)

各クラス代表 5グループ

組	班	氏名	テーマ	担当議員	スピーチの様子
A	5	網野 聖也 伊藤 さよ 掛川 風保 小林 柚花 宮澤 慶 山本 奏葉	駒ヶ根の自然 を生かすアウ トレット	竹村 知子 今堀 雷三 中島 和彦	
B	6	気賀澤 碧 西出 愛莉 福澤 浩太 三島 颯斗 矢澤 愛香	シャッター街 の活性化につ いて	気賀澤葉子 中山 万宝 小原 晃一	
C	5	唐澤 昇汰 宮下 昂大 飯塚 美那 小松 菜月 中村 成那 福島 琉生	誰もが楽しめ る街作り～ 100年先も明 るい未来へ～	藤井 邦彦 竹上 陽子 宮下 稔	
D	1	池上 慶志 伊藤 優楽 唐澤 圭都 小林 美結 藤沢 優太	ゲームを通じ て駒ヶ根の魅 力を伝える	押田 慶一 福澤 美香 小原 茂幸	
E	4	伊藤 有芯 木下 翔 黒澤 汰間 後藤 洸瑛 橋爪 奏太	さあ作ろう！ プール復活大 作戦	竹村 誉 池田 幸代 小林 敏夫	



「高校生未来会議」の様子は市議会ホームページからご覧いただくことができます。



提案概要

駒ヶ根の自然を生かしたアウトレットは、単なる商業施設ではなく、SDGsの取り組みや古民家リノベーションなど、地域の人々が集まり、交流でき、誰もが楽しめる場所を目指します。

リニア中央新幹線開通というチャンスを生かし、駒ヶ根駅前商店街を活性化するための具体的な計画（2034計画）を考え、地域住民や関係者の協力のもと成功させ、より良いまちづくりを目指します。

ビアガーデンとフラワーガーデンを融合させたビアフラワーガーデンプレイス、市内循環バスや屋内プールの復活。この3つの提案を通じて、駒ヶ根市をより魅力的な街にしていくことを目指します。

駒ヶ根市を舞台にしたゲーム制作は、単なるエンターテインメントにとどまらず、地域活性化に大きく貢献できる可能性を秘めている。このプロジェクトを通じて、駒ヶ根市の魅力を世界に発信し、より多くの人々に愛される街にしていくことを目指します。

駒ヶ根にある源泉を利用した温水プールを新設し、環境に配慮した通年利用ができる施設となることや市民の健康増進と地域活性化を目指します。

議場スピーチを終えて 高校生の感想



A組 5班

他のクラスの発表内容は知らなかったのですが、この場で共有できて楽しい時間でした。



B組 6班

他のグループの発表を聞いて、自分ではそういう考えはなかったというところが聞いてよかったです。



C組 5班

少しでもわたしたちの意見を採用してくれたら良い駒ヶ根市になるのではないかと思います。



D組 1班

自分たちの主張で市を動かせたら良いと思いました。1番びっくりしたことはこの議場が分かったことです。



E組 4班

このような貴重な機会でも、駒ヶ根市についてみんなで話すことができ嬉しかったし、少しは駒ヶ根市に貢献できたかなと思います。

委員会審査報告

12月定例会では、12月13日・16日に常任委員会を開催し、条例改正案や一般会計補正予算案などの議案を審査しました。

審査した議案の主な内容と質疑内容をお知らせします。(議決結果は、P7の議案等審議結果をご覧ください。)



総務産業委員会

委員長：竹村知子 副委員長：池田幸代

委員：小林敏夫、今堀雷三、福澤美香、押田慶一、藤井邦彦

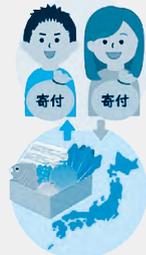
①「ふるさと寄附」増加に伴い、取り扱い業務にかかる予算を増額します

「ふるさと寄附」は、自分の故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度で、手続きをすると、税額控除などが受けられ、返礼品を受け取ることができます。また、寄附金の「使い道」を指定することもできます。

本年度11月末現在、駒ヶ根市への寄附が約7億6千万円で、前年同時期と比べ約7割増加しており、今後も増加が予想されることから、取り扱い業務にかかる経費を増額するものです。

問 ふるさと寄附の返礼品の中で、人気のある商品は。

答 プラスチックめっき加工を施したくし関連の品が大幅に伸びている。米や松茸類、お酒も人気がある。また、本年度は大手セレクトショップBEAMS(ビームス)と地元企業が連携した新商品もラインナップに加えており、その効果も十分出ている。



<議案第73号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号) 5億円>

②原油価格・物価高騰などの影響を受けている商工業事業者を支援します

原油価格・物価高騰及び不安定な国際情勢の長期化により、大変厳しい状況が続いている市内の商工業事業者に対し、冬季の電力需要期におけるエネルギーコストの負担を軽減することにより、事業者の経営基盤の安定や事業継続を支援します。

概要

対象者	①中小企業基本法に該当する中小事業者のうち商工業事業者 ②市内に本社又は営業所がある法人(大企業は除く)または個人事業主 ③令和6年11月～令和7年2月の4ヵ月間において、いずれかの月の電気使用量(kWh)が1,500kwh以上であること。
内容	応援金額=月電気使用量(kWh×3円×4ヵ月分)
実施期間	令和7年1月～3月
その他	同一事業者に対する応援金の上限額は50万円

<議案第73号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号)2,200万円>

教育民生建設委員会

委員長：小原晃一 副委員長：中島和彦

委員：竹上陽子、竹村誉、氣賀澤葉子、中山万宝、宮下稔

①子どもの進学に向けたチャレンジを後押しします

ひとり親家庭や低所得子育て世帯等の子どもの進学に向けたチャレンジを後押しするため、大学などの受験料や模試費用を補助します。

対象者	20歳未満の駒ヶ根市民で以下の①又は②に該当する方 ①児童扶養手当受給世帯相当 ②住民税非課税世帯
補助内容	・大学などを受験する際に必要な受験料(上限:53,000円) ・模試費用(上限:高校3年生 8,000円、中学3年生 6,000円)
適用時期	令和6年度該当分から

問 対象となる世帯への周知は。

答 児童扶養手当受給世帯は把握ができていますので通知を出してお知らせする。住民税非課税世帯は相当数いるため、中学校での通知の配布、ホームページや市報などでの周知を考えている。

<議案第73号 令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号) 174万円>

②資源プラスチックの収集方法が変わります

令和7年4月から製品プラスチックも資源物として収集しリサイクルされます。

問 新たに製品プラスチックも収集するようになったのは。

答 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行によるもので、これまで収集していた「プラスチック製容器包装」に加えて新たに「製品プラスチック」を一括して収集しリサイクルする。



製品プラスチックとは

プラスチック製容器包装やPETボトル以外のプラスチック製品をいいます。プラマークは付いておらず、これまでは可燃ごみとして収集していました。

<議案第70号 駒ヶ根市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例>

令和6年 第4回 駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

● 市長提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少	付託委員会
議案第68号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第69号	駒ヶ根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び駒ヶ根市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第70号	駒ヶ根市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第71号	駒ヶ根市檜尾小屋条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	総務産業
議案第72号	駒ヶ根市下水道事業の設置等に関する条例及び駒ヶ根市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第73号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第74号	令和6年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第75号	令和6年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第76号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	全会一致	総務産業 ※教育民生建設
議案第77号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致	教育民生建設
議案第78号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	全会一致	教育民生建設

※印は関連審査を行った委員会

● 選任の同意

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議案第66号	駒ヶ根市固定資産評価審査委員会委員の選任について(宮下兼秋氏、再任)	原案同意	全会一致

● 専決処分の承認

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議案第67号	令和6年度駒ヶ根市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致

● 議員提出議案

議案等番号	議案等件名	採決結果	賛否の多少
議 第12号	上伊那地域に児童相談所の設置を求める意見書	原案可決	全会一致 意見書提出
議 第13号	日本政府が核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバー参加することを求める意見書	原案可決	全会一致 意見書提出
議 第14号	駒ヶ根市議会個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致

● 報告

議案等番号	議案等件名
報告第17号	市道における物損事故に係る損害賠償の額を定める専決処分の報告について
報告第18号	自動車物損事故に係る損害賠償の額を定める専決処分の報告について

市政を問う

一般質問

今回、12人の議員が
一般質問を行いました!



一般質問

議員が市政について自由に質問することです。質問内容は「通告書」により締切日までに提出します。



詳しくはHPへ

各議員のQRコードからYouTubeの録画動画をご覧くださいことができます。

質問時間は30分

一人当たりの質問時間は30分。答弁時間は含みません。30分を超えて質問することはできません。

※一般質問は、エコーシティ・駒ヶ岳でも放送しています。一般質問項目の内容が、全て記事になっているとは限りません。

各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、YouTubeから一般質問の様子が視聴できます。パソコンで視聴される場合は、「駒ヶ根市議会」で検索後、「一般質問録画中継」からご覧ください。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。)

① QRコードをカメラやアプリなどで読み取ります。(お使いの機種によって操作方法が異なりますのでご注意ください。)



② 画面に表示されたURLを選択すると議員の一般質問ページ(YouTubeページ)が表示され動画が始まります。

中山万宝 議員

強度行動障がい者に対する特化した支援体制を構築する検討は、
市長 特化した支援体制はないが障がい者全般において関連機関が連携を図り、状況に応じた支援を行っている。特別な支援が必要な時には特性などに応じて対応している。
市長 施設利用終了後、受け入れられる地域支援体制はできているか。
市長 難しいところであるが、利用者の特性や状況に応じた安定した生活が送れるよう、家族・相談員・医療機関・行政・サービス事業者で検討し方向性を見出していく。
市長 強度行動障がい者は入所施設がなく、家族が在宅介護をせざるを得ない。環境改善性を図る金制度
市長 異なる。「住
安全な生活を送るうえで必要であると認識している。今後、導入に向けて検討していく。

① 質問後の感想
強度行動障がい者に対し理解度が低く施設も少ない。在宅介護を余儀なくされているのが実情。安心安全な生活のため「住宅整備事業補助事業」制度導入の検討をいただいたことは意義深いことと感じた。

② その他の質問
▶福祉就労の充実について
▶公園設置のトイレ管理について
▶「磐田の森」移転について



① 一般質問終了後の感想を掲載しています。
② その他に行った質問を掲載しています。



氣賀澤 葉子 議員

問 命に関わる災害時のトイレの対策は



質問動画はこちらから

答 発災直後は携帯トイレが有効

問 発災後、排水設備が使用可能と判断できるまで、汚水を一切流さないよう徹底する方針か。

市長 破損した下水道設備を使用すると汚水が溢れ不衛生になり、復旧工事の妨げにもなる。今後、排水設備の使用は控えるよう周知する。

問 災害関連死を防ぎ、命を守るには「トイレ対応」が重要。トイレの回数を減らすことで体調を崩したり、不衛生だと感染症が発生しやすい。発災直後のトイレの対策は。

市長 携帯トイレが有効だと考える。市では携帯トイレの備蓄量を算出し必要量は確保している。市民の皆さんにも備蓄をお願いしたい。

問 避難生活が長期化した場合、「和式が多い」「トイレ内の照明」「設置場所によっては犯罪が起こりやすい」などが課題となる。これらを踏まえ、工事現場で使用される仮設トイレの設置も検討するのか。

市長 仮設トイレ、あるいは近年改善が進む快適トイレの活用も考えており、受援や協定を結んでいる業者などから確保し避難所へ設置する。

その他の質問 ▶教育委員の選任について ▶教育委員会では委員間での意見交換など審議の活性化は進んでいるのか ▶総合教育会議の目的を市長はどう考えているのか

質問後の感想

「トイレ対応」の重要性および携帯トイレを有効とする方針は確認できました。汚水は流さないことも周知していただきたい。今後も、市民の皆さまに寄り添った質問内容となるよう議会として努めます。



凝固剤を使う携帯トイレ



中山 万宝 議員

問 強度行動障がい者に住宅整備支援検討は



質問動画はこちらから

答 今後導入に向けて検討していく

問 強度行動障がい者に特化した支援体制を構築する検討は。

市長 特化した支援体制はないが障がい者全般において関連機関が連携を図り、状況に応じた支援を行っている。特別な支援が必要な時には特性などに応じて対応している。

問 施設利用終了後、受け入れられる地域支援体制はできているか。

市長 難しいところであるが、利用者の特性や状況に応じ安定した生活が送れるよう、家族・相談員・医療機関・行政・サービス事業者で検討し方向性を見出していく。

問 強度行動障がい者は入所施設がなく、家族が在宅介護をせざるを

得ない状況である。介護の居住環境改善を目的とし、日常生活の利便性を図るために「住宅整備事業補助金制度」を提案する。

市長 特性により対応方法が大きく異なるため、特別な配慮も必要となる。「住宅整備補助事業」は、安心安全な生活を送るうえで必要であると認識している。今後、導入に向けて検討していく。

その他の質問

- ▶福祉就労の充実について
- ▶公園設置のトイレ管理について
- ▶「磐田の森」移転について

質問後の感想

強度行動障がい者に対し理解度が低く施設も少ない。在宅介護を余儀なくされているのが実情。安心安全な生活のため「住宅整備事業補助事業」制度導入の検討をいただいたことは意義深いことと感じた。



西駒郷の強度行動障がい者専用棟



竹村 誉 議員

問 リニア残土の独自の安全性検証の考えは



質問動画はこちらから

答 市として独自の調査を行う考えはない

問 リニア埋土の竜東整備事業にも盛り込まれている交差点周辺の飛び地3ヶ所は、見通しが悪く景観を損ねており、JRの事業の中で進められるのか心配もされる。隣接の新宮川は「信州いい川づくりモデル事業」として採択が決まり、この関連も踏まえた整備の進め方は。

市長 拠点施設横の新宮川は、県の「信州いい川づくりモデル事業」に採択され、施設と道路を挟んだ飛び地、そして、新宮川を一体として新たな拠点として捉えていくことも可能だ。飛び地整備は、地元の皆さんの要望も踏まえ、今後具体的な検討を進めていく。

問 リニア残土は土壌汚染対策法の基準値を超える「要対策土」の発生が各地で問題になっている。当市はJRの報告をもって担保としているが、中川村では独自に検査機関に検証を依頼している。自治体の責任として「受け入れ残土」の検証を独自に行うべきではないか。

市長 基準値を超えていない発生土のみ搬入されることになっており、市独自の調査を行う考えはない。

その他の質問

- ▶学習スペース確保について
- ▶登戸平和資料館の常設展示は
- ▶木質バイオマス推進の考えは
- ▶「年収の壁」財政課題について

質問後の感想

中川村はJRからの報告に加えあえて職員立ち会いの下、大鹿の現場に出向き、月一の頻度で抜き打ち検査を行っている。埋土地は下流域に影響を与え、万が一でも汚染されるようなことがあってはならない。



雑木に覆われた見通しが悪い飛び地



押田 慶一 議員

問 BEAMS(ビームス) との今後の連携は



質問動画はこちらから

答 今年度を含め3年間は連携を継続したい

問 今年5月から大手セレクトショップ BEAMS のアドバイスを受け、新商品を開発した市内4事業者が、11月5日にそれぞれ個性のあるアイテムを発表した。この4事業者はどのような基準で選定したか。

市長 地域や空間、物の背景にストーリー性があるか、地域性を感じられる商品であるか、今後の新たな可能性を感じられるか、といった3点である。

問 これは BEAMS と駒ヶ根市が連携した事業だが、商品のフォローアップはどのように考えているか。

市長 今後は市のホームページや市報・SNSなども活用し、情報発信

を行う。また、BEAMS のオンラインサイトでも 11/21～12/18 で販売している。

問 この事業は市内企業の活性化、また、駒ヶ根の知名度アップにもつながるので、これを1回だけで終わらせるのはもったいない。今後も BEAMS との連携を考えているか。

市長 今回の取り組みが一般消費者向け商品を製造する B to C 参入のきっかけとなる。可能性の幅を大きく広げたと考えており、3年間は連携を継続したい。

その他の質問

▶自治会への加入および参加を促進する条例の制定についての考えは

質問後の感想

駒ヶ根市には「協働のまちづくり条例」があり、その中には自治組織に関するの条文が含まれています。これを自治組織の在り方検討会で生かし、市民自治の意義、自治会の活性化に役立てればと思います。



新商品発表会の様子



竹上 陽子 議員

問 不登校が急増、居場所への公的支援は



質問動画はこちらから

答 地域子どもの未来応援事業補助金で支援

問 令和5年度、小中高生の不登校は全国で41万人超。当市の実態は。
教育長 令和5年度不登校数は、小学校37人、中学校56人で増加傾向にある。

問 個性を平均化する学校から子どもが離れている。多様な学びの場を保障する必要がある。親の会の運営する「みなみい〜ね」とフリースクールの人件費などを公的支援する考えは。

教育長 「駒ヶ根市地域子どもの未来応援事業」により運営に必要な費用を補助している。県でも居場所支援型に年間60万円、学び支援型には上限200万円まで補助している。

問 子どもの未来応援事業は、1団体、1年に1回限りと限定されたものである。伊那市が行っている、「子どもの居場所支援臨時特例事業」などを研究し取り入れては。

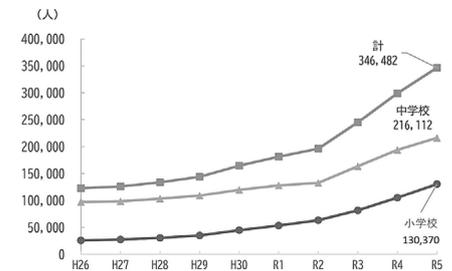
教育長 当市でも、こども家庭庁が行っている事業の要件を満たす団体であれば、内容を十分確認し、事業活用を検討していく。

その他の質問 ▶低所得世帯への灯油購入費の助成をする「福祉灯油」の実施について ▶「市民活動総合補償制度」の拡充とガイドライン導入について

質問後の感想

学校に行きづらい、行けていない子どもが、自分らしく過ごせる居場所があることの重要性を改めて強く感じました。過ごしやすい居場所を社会全体で支える仕組みづくりが必要だと思います。

不登校児童生徒数の推移



出典：文部科学省ホームページ



今堀 雷三 議員

問 リニアや三遠南信開通後の戦略や考えは



質問動画はこちらから

答 関係人口の拡大を進めるチャンス

問 国は移住の次の策として、二地域居住を進めており、二地域居住を促進する官民連携プラットフォームを立ち上げたが、会員の中に駒ヶ根市が見当たらない。市は国のこの動きをどのように捉えているか。

市長 二地域居住へのニーズは高まっている。令和5年度、移住相談窓口を通じて移住された38組70人のうち、二地域居住の方は4組7人。ご指摘のプラットフォームには既に加入手続きを済ませ会員として登録されている。

問 将来のリニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、二地域居住に関してどのような戦略

や考えがあるのか。

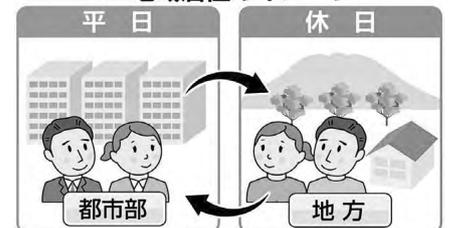
市長 リニアや三遠南信が開通すると駒ヶ根市は首都圏や中京圏から最も近い長野県内の山岳リゾートになる。現在、県が策定している計画を基に市としても計画を進める。これにより空き家改修やコワーキングスペース整備に特例措置が受けられる。国・県の動向も踏まえ、関係する団体と連携し駒ヶ根市にどういった方を呼び込んでいくかイメージを固めて進めていく。

その他の質問 ▶移住者に対する市の対応について ▶市内の国道道の除草・落ち葉の処理について ▶工事現場で発生する残土処理について

質問後の感想

少子高齢化や人口減少の進行により、人口の奪い合いから人口をシェアするという発想に変わってきています。国の動きは早い。常にアンテナを高く持ち、最先端の情報を取りに行く姿勢が大事ですね。

二地域居住のイメージ



人口をシェアする二地域居住政策



藤井 邦彦 議員

問 市におけるインクルーシブ教育の課題は



質問動画はこちらから

答 自然な流れで寄り添い進めることが課題

問 市におけるインクルーシブ教育の現状と課題は。

教育長 障がいの違いに応じてサポートの種類や注力度合いが異なり、教員がどこまで支援するかの見極めが難しく、過剰な配慮は子どもにとっても教員にとっても負担が大きくなる。自然な流れで子どもの立場に立って進めることができるようにすることが現在の課題。

問 インクルーシブ教育は、支援員・相談員などの人数だけでは個人ごとの対応を行うことは難しい。解決には全ての教職員、支援員・相談員などが一緒になって取り組みを進め一人当たりの負担を減らすこ

とが肝要だ。そのためインクルーシブ教育の知識、理解をさらに深められるよう教職員研修などを強化することが必要。そのことがひいては教職員の負担軽減と子どもの支援拡充にもつながると考えるが、市の支援体制強化についての考えは。

教育長 実践的研修の他にも、携わる全ての人々が包括的に関われるように担当業務の壁を取り払ってつないでいくことをテーマに掲げ、教職員の資質向上を図るよう動き始めている。

その他の質問 ▶公営住宅政策について ▶職員の人事制度及び働き方改革について

質問後の感想

インクルーシブ教育は共生社会実現への第一歩で大変重要ですが、支援側は人手不足などにより個人ごとに寄り添えない状況です。ではどうすれば良いか。今後も先進事例に学び、解決策の提案を続けます。



全ての子どもが笑顔で暮らすために



池田 幸代 議員

問 若い世代へのワークルール教育は



質問動画はこちらから

答 市内高校・大学に呼びかける

問 過労自死未然防止の観点で開催した「いのちと健康を考えるシンポジウム」では、67人の自死(過去10年間)が判明。市民の反応は。

市長 市民200人が参加。自分ごととして受け止めた。

問 30代や70代の自殺が多い。地域特徴を踏まえ、どんな施策に力点を置くか。

市長 ハイリスク層を①子ども・若者②勤労者③生活困窮者④高齢者とし自殺に対する正しい理解と個別支援の充実が重要であると考えている。

問 若い世代へのワークルール教育は。

市長 厚生労働省による弁護士・社労士・自死遺族などによる啓発授業を市内高校・大学に呼びかける。

問 生活課題が複雑化した人をサポートする重層的支援体制整備事業との連動は。

市長 個人の抱える課題が深刻化する前に、関係機関ネットワークをつくり自殺対策につなげる。

問 シンポジウム参加の市民の力を予防にどう生かすか。

市長 ゲートキーパー(命の門番)養成講座を受講し身近な人の変化に気づく人を増やしていく。

その他の質問 ▶不登校児童居場所支援 ▶夜間地域公共交通

質問後の感想

自然災害だけでなく、職場のハラスメント、失業、病、介護、離婚など不意に自分の身に「人生の一大事」が降りかかった時に周囲からの可能な限りのサポートが寄せられる必要があります。



市民200人参加のシンポジウム



中島 和彦 議員

問 市の考える魅力ある地域農業の創出とは



質問動画はこちらから

答 地域農業ビジョンに具体策を盛り込む

問 市の魅力ある農業の創出とは。

市長 後継者の育成と確保、稼げる農業への展開、農業が適切な評価を受け意欲が湧くことなどが必要と考える。国の補助金制度の利用や、6次産業化への取り組み、地元食材を活用した付加価値のある商品開発の推進を担当部署や企業と連携して進める。

問 ブランド農作物での戦略は。

市長 黒ごまや地ビール・ウイスキーの原料となる二条大麦に組み合わせ、プロジェクトを立ち上げた。平成29年から宝剣岳エールを販売。令和2年に地元産ウイスキーも仕込みを開始。引き続き駒ヶ根の魅力を

発信する新たなブランドづくりのため、農家や市内の事業者の皆さんとともに取り組む。

問 農地法の一部が改正され、下限面積要件が廃止。市の対応と施策は。

市長 農業の広がりが期待される。市民の皆さまへ広報し、取得にあたっての要件を説明した。現在は、特に移住希望者や新規就農希望者の方々を中心に周知している。市の農業力の向上につながるよう、引き続き指導支援を行う。

その他の質問 ▶EV車の充電設備の目的と周知、整備内容について

▶景観形成住民協定協議会の在り方について

質問後の感想

「ごまプロジェクト」に取り組む栽培農家は縮小しており、引き続き支援が必要と考えます。風味豊かな良質の国産黒ごまを生かした焼酎など、他業種・企業と連携した商品開発も望まれます。



魅力ある地域農業に向けて



小原 晃一 議員

問 農産物被害の支援策で補正予算の検討は



質問動画はこちらから

答 補正予算対応は現時点では考えていない

問 市長の公約にある「地に足のついた将来ビジョン」が見えない。

令和7～9年度実施計画で目指す農業の具体的なビジョンや決意は何か。

市長 計画的かつ有効な事業を図り、農業に携われる方々が安心して続けられるよう推進を図っていく。

問 令和6年、稲作・そ菜・果樹の被害状況をどう把握しているのか。

市長 水稲は、南信で作況指数100の平年並み。一部の農家では、いもち病の発生、カメムシによる斑点米や酷暑による胴割米で品質低下。ほうれん草などの葉物も高温の影響で収穫減。秋ブロッコリーが黒すす病の多出で収穫量が大幅減。

リンゴは、夏からのカメムシの発生や消毒散布が行き届かないことにより、3～5割の収量。高温障害の影響もあり、日焼け果と果実の割れが発生。

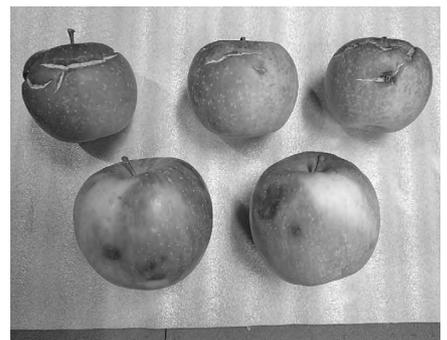
問 毎年、農産物被害が発生する中、独自の支援施策を検討できないか。

市長 JA上伊那において、販売につながる取り組みとして、リンゴの特別集荷対応を行っているため、補正予算の対応は現時点では考えていない。

その他の質問 ▶駒ヶ根高原観光地の施設整備などについて ▶介護保険事業について ▶パートナーシップ宣誓制度について

質問後の感想

地域資源である農地や景観を守り、私たちの命や生活を支えるために、農業に従事されている皆さまの収入保障や支援を市独自の施策を策定して実施すべきである。



胴割れやカメムシ被害によるリンゴ



竹村 知子 議員

問 市窓口で軟骨伝導イヤホンを導入しては



質問動画はこちらから

答 市役所の必要な窓口へ導入していく

問 耳が聞こえにくい人が円滑に会話できるよう「軟骨伝導イヤホン」を導入している自治体が増えている。このイヤホンは耳の軟骨に振動を与えることで音を聞こえやすくするものである。小さな声でも聞き取れるようになり、大きな声で話す必要がなくなる。「窓口の係の声がよく聞こえない」「大きな声で話して個人情報を知られたくない」などの心配を解消し、「聞こえにくい」をサポートする。福祉課や市民課の窓口で軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。

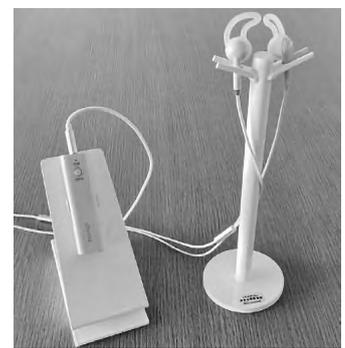
市長 軟骨伝導イヤホンは耳をふさかず、くぼみ部分に装着して入口付近にある軟骨を振動させて音を伝え

るというものである。音漏れが少なく、小さな声も聞き取りやすくなり、個人情報や相談内容が周囲にもれることを防ぐ効果がある。加齢により聞こえにくい方、あるいは日常生活で聞こえに対して不安を感じておられる方が、窓口で安心して説明を聞くことができるようにするため、今後、必要な窓口へ導入していく。

- その他の質問** ▶子どもへの金融教育
▶災害時に拠点となる重要施設の上下水道の耐震化の状況 ▶若年女性が都会へ流出する現状と対策
▶誰もが投票しやすい環境づくり

質問後の感想

市の窓口で軟骨伝導イヤホンが導入されることになり、ありがたい。耳が聞こえにくい人が安心して相談でき会話がスムーズになるので、市民に積極的に使っていただきたい。また周知をしていただきたい。



円滑に会話できる軟骨伝導イヤホン



福澤 美香 議員

問 地区役員の女性活躍に行政主導の施策は



質問動画はこちらから

答 役員選出に行政が主導する考えはない

問 地区役員において昨年度の女性役員の割合が5%にも満たない。自主的に増やすのが大前提だが、女性役員のいる区に有利な策など行政からの働きかけも重要では。

市長 役員の選出は各自治組織の決定を尊重し、女性が活躍できる環境が整っていくことを期待する。優遇措置の導入は考えていない。

問 各区の女性役員の人数や役割などを公表し、目標値を定めては。

市長 区長会で公表している。女性役員の割合は5~6%で推移しているが、令和8年度までに20%を目標として計画策定済み。

問 女性本人や組織内の意識改革

も必要。意識改革を進めるセミナーや意見交換会などを開催しては。

市長 男女共同参画社会を目指す講座「あなたと私のいきいき講座」を毎年3回ほど開催している。女性リーダーが少ない原因は、男性主体の組織運営、女性本人が責任ある地位に就きたがらないなどが上位に挙がる。今後も男女共同参画の推進、性別役割分担の意識改革などに関するセミナーを開催していく。

- その他の質問**
▶防災行政無線の定刻チャイムに「駒ヶ根市の歌」の採用検討を
▶「自治組織の在り方検討会」の今後について

質問後の感想

役員をやりたくない女性の気持ち、よくわかります。だからこそ女性目線の自治組織運営が重要なのです。お昼のチャイムをシステム更新に合わせて「駒ヶ根市の歌」に替えられます。楽しみです♪



駒ヶ根市男女共同参画計画

第19回マニフェスト大賞「エリア選抜」に認定されました



マニフェスト大賞
ホームページ

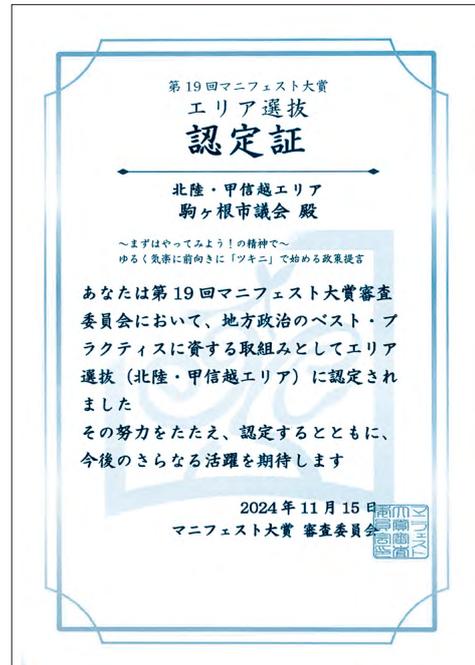
駒ヶ根市議会では、地方自治体の議会・首長・市民などによる地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを表彰する「第19回マニフェスト大賞（主催：マニフェスト大賞実行委員会）」に初めて応募し、応募総数3,012件の中から、北陸・甲信越地区のエリア選抜（105件）に認定されました。

優秀賞・躍進賞（41件）は逃しましたが、これまでの取り組みが少しずつ評価された結果です。今後も、市民の皆さまに開かれた議会を目指し取り組んでいきます。

応募した概要

～まずはやってみよう!の精神で～
ゆるく気楽に前向きに「ツキニ」で始める政策提言

開かれた議会を目指して「まずはやってみよう!」の精神でさまざまな取り組みに着手。議員間討議のきっかけづくりを目的とした「クールダウンミーティング」をはじめ、常任委員会での対話機会を増やし政策提言につなげることを目的とした「ツキニミーティング」など、新たな取り組みを展開。併せて、ICT活用、議会報リニューアル、主権者教育推進など、幅広い取り組みを実践しています。



第19回マニフェスト大賞 エリア選抜認定証

県内外より、多くの議会の皆さまが駒ヶ根市へ行政視察に訪れています

駒ヶ根市や駒ヶ根市議会が実践する事例などの視察に、県内外より多くの議会の皆さまが当市を訪れています。今年度の受け入れ状況についてご紹介します。

月日	議会名	人数	視察内容	担当部署
5月21日	滋賀県長浜市議会 議会運営委員会	12	議会改革・議会機能向上推進委員会の取り組みについて	議会事務局
5月28日	滋賀県湖南市議会 議会運営委員会	10	議会運営と議会活性化の取り組みについて	議会事務局
7月4日	岐阜県海津市議会 総務産業建設常任委員会	10	移住定住について	商工観光課
7月16日	新潟県五泉市議会 議会運営委員会	10	ペーパーレス会議システム運用とLINEWORKSの活用状況について	議会事務局
7月24日	大分県別府市議会 会派市民クラブ	3	防災雨量観測システムについて	危機管理課
10月9日	群馬県みどり市議会 市民福祉常任委員会	8	子育て支援について	企画振興課 子ども課
11月1日	埼玉県ふじみ野市議会 議会運営委員会	10	議会活動の活性化について（住民参画、機能強化他）	議会事務局
11月11日	松本市議会 交流部会	12	意見交換会及び議会報告会について 議会における主権者教育について	議会事務局
11月18日	香川県高松市議会	2	シルク連携事業（シルクミュージアム）について	農林課
11月19日	兵庫県淡路市議会 議会運営委員会	10	議会改革について	議会事務局
11月22日	新潟県糸魚川市議会 議会運営委員会	10	議会改革について（住民参画、LINEWORKS他）	議会事務局
12月23日	千曲市議会 広報特別委員会	12	議会広聴について	議会事務局

友好都市石川県かほく市議会を訪問 (令和6年11月14日~15日)



かほく市大崎区内地震被害の状況について (大崎区長からお話を伺っている様子)



かほく市大崎区内地震被害現場視察 (写真右側は、地震により被害のあった神社。写真奥では、除雪車が稼働できるように、降雪前に急ピッチで道路を整備している様子。)

かほく市と駒ヶ根市は、人口が同規模で、共に県立看護大学が立地するなどの共通点もあることから、平成25年11月に「災害時の相互応援に関する協定」を締結しました。それ以来、特産品の販売や区長会・市議会などによる相互訪問など、協定以外の分野でも交流が続けられてきました。協定締結から5年目を迎えた平成30年に、両市のさらなる発展を願い、友好都市提携をしました。

今回の訪問では、かほく市議会との交流会をはじめ、あそびの森「かほっくる(屋内運動施設)」、令和6年能登半島地震により被害のあったかほく市大崎区内地震被害現場などを視察させていただきました。

かほく市は人口が増加している市です。今回は、友好都市提携後、初めての市議会全員での訪問となりました。かほっくるや西田幾多郎(きたろう)記念哲学館、PFU本社・工場、液状化による震災被災地などの視察をはじめ、議員間の交流を深めました。災害には日頃からの備えが大切であることを再認識するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



小原茂幸 議長

かほく市紹介

かほく市は石川県のほぼ中央に位置し、日本海に面する都市で、金沢市から約20キロの場所にあります。市内には、かほく市出身で日本を代表する哲学者、西田幾多郎の記念哲学館があります。大粒で甘みの強い高松ぶどう(デラウエア)、かほっくり(サツマイモ)、11月に解禁されるカニなど、農海産物が豊富に味わえる地域です。



かほくマスコットキャラクターにゃんたろう



かほく市

金沢

石川県



かほく市ホームページ

かほく市概要

人口	36,187人
面積	64.44km ²

※人口は2024年11月30日現在



編集後記

議会だより104号をお読みいただきありがとうございます! 今月号は「高校生未来会議」を特集として掲載しましたが、いかがでしたでしょうか。感想をお聞かせください。私事ですが、市議会議員となり、令和7年4月で2年が経過いたします。議員生活を滞りなく送ることに、議員として行政の知識を得ることなど日々勉強です。特にタブレットの扱いに奮闘しています。一般質問は難しく、戒めとして市民の皆様の意見や思いを忘れず、どのように質問すればご期待に応えられるか毎回悩むところです。「市議会だより」は私たちの活動を市民の皆さまに知っていただく場であり、交流の場でもあります。工夫して面白いものにしていきますのでこれからも読んでください! (中山万宝)

広報広聴委員会

委員長	宮下 稔
副委員長	今堀 雷三
委員	竹上 陽子
委員	小原 晃一
委員	押田 慶一
委員	藤井 邦彦
委員	中山 万宝
委員	竹村 知子

発行/駒ヶ根市議会 発行日/令和7年1月20日 編集/広報広聴委員会

〒399-4192 長野県駒ヶ根市赤須町20番1号 TEL.0265-81-6191(直通) <http://www.city.komagane.nagano.jp/>